

～ゼロからのトマトづくり。家族の笑顔を味方に～

東 高広さん（松野町）

松野町認定農業者等協議会 会長 1970年生まれ



☆経営概況☆

妻と大学生を筆頭に子供3人。

農作業は、妻と二人で楽しく。養液栽培でトマト、ミニトマトを10a。家の近くの水田でお米を8a。

☆ここがポイント☆

愛媛には縁もゆかりもない**生粋の大阪人**。

松野町で就農して15年目、サラリーマン時代から「いつかは農業をしてみたい」、「いずれ田舎暮らしを楽しみたい」。という思いと大阪であった就農イベントで話を聞いて、就農を即決しました。（愛媛の担当者が親身に相談に乗ってくれたことも決め手に）

幸いなことに、松野町農林公社では2年間研修生として本格的な農業経験を積むことができた事、**研修生当時から松野町やお隣鬼北町の野菜農家の先輩方から貴重なアドバイスを受ける**ことができたことは、今に繋がっていると思います。

ただ、今だに年間を通して、トマトづくりが「うまくいった」。という年はありません。

就農当時は、お米やきゅうりの栽培もしていましたが、今はトマト・ミニトマトだけです。**唯一のこだわりは、「地元の人に愛されるトマトを作りたい」、「ココのトマトがいいんだよね♡。って言われるものを作りたい」**という思いだけです。

町内の産直施設や色々な伝手を頼って、大阪などにも出荷していましたが、今は地元スーパーの直売コーナーだけに絞って販売しています。

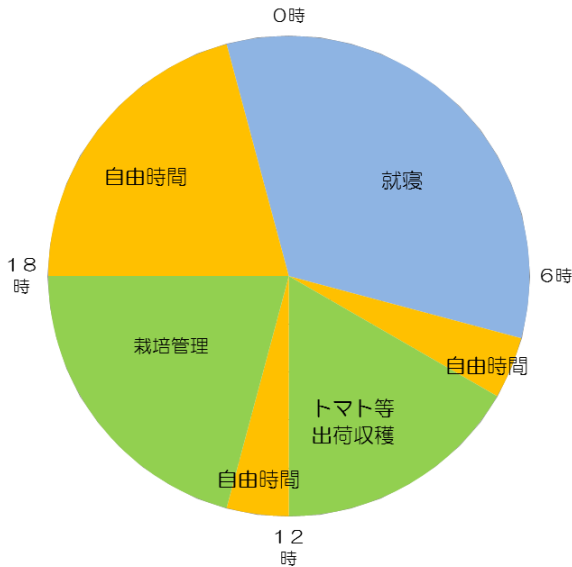


ミニトマトの整枝作業



たわわに実るミニトマト

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

もともと、趣味でもあった菜園からの野菜作り、**作物を育てる＝趣味、楽しみ？**。

ただ、夫婦だけの経営のため、1年中休みがないのが現状。そろそろ自分たちの時間も取って、生活を楽しむ余裕が欲しいのも、正直なところです。

家族旅行もしたことが無いので、少し気持ちと時間の余裕を持って、”子供孝行”もしたいです。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	トマトの栽培期間中は、午前中出荷、午後収穫。 施設栽培ですので、収穫以外にも何かの作業が雨天でも有ります					
← トマト(8月～翌年6月) →						
【普通期】	育苗や施設の整備等。と言っても、ほとんどヒマになりませんが、 作業の状態を見ながら休みを取ります。基本的に日暮れには仕事は終わります。					
← トマト(6～8月) →						



独自のアイデアを取り入れたハウス。

☆これからの夢や目指すもの☆

地味かもしれませんが、**健康でこの仕事を少しでも長く続けられたら、これ以上望むことはありません。**

☆メッセージ☆

何年経っても農業は、日々勉強です。だからこそ、「歳をとってからは遅い」今しかないと感じたら、そこから1歩を踏み出すことが大切だと思います。私はサラリーマン時代の趣味は、ベランダでの家庭菜園でした。休日菜園では満足できる野菜作りができませんでした。

今では朝から晩まで**年中野菜作りできる幸せを味わっています。**
「家庭菜園で物足りない思いをしている、あなた!。とりあえずトマト 1,000本ほど、植えてみませんか」。